

中高一貫だより

<編集・発行>
えりも地区連携型
中高一貫教育
推進委員会事務局

「平成27年度の中高一貫教育」を終えて



えりも地区連携型中高一貫教育推進委員長
(北海道えりも高等学校長)

益田昇悟

えりも町の皆様には、平素より「中高一貫教育」にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

「中高一貫教育」もお陰様で12年目を無事終えようとしていますが、日頃から各種取組を進める上で、関係各位に大変お世話になっていることに対して、あらためて感謝申し上げます。

さて、「中高一貫教育」に係りましては、今年度も、「えりもの子はえりもでしっかりと教え育む」という理念のもと、『学力向上を軸とした中高連携の推進』を大きな目標とし、「学力向上」「キャリア教育」「環境教育」「特別活動」という四つの柱を立て、各種の取組を進めてまいりました。

「学力向上」では、各教科において高校教員の中学校への乗り入れ授業の充実等に力点を置くとともに、昨年の英語に続き、今年度は、数学でも週2回、高校の教員が中高一貫教育講師として、中学校で、中学校の先生とのティーム・ティーチングや習熟度別という形で授業を実施することができました。また、「特別活動」においては、吹奏楽における連携について道筋をつけることができました。

今後に向けましても、「キャリア教育」や「環境教育」を含め、内容の充実に向けた工夫改善を着実に積み重ねる中、中高の連携をより一層実効性のあるものにし、小学校等との連携も視野に入れながら、地域が一体となる中で、子どもたちの学びがより確かなものとなるよう取組を進めてまいりたいと考えております。

次年度も皆様からのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げ、平成27年度のお礼とさせていただきます。

平成27年度 各教科部会の取組報告

【国語部会】今年度は昨年度までと同様、中高一貫漢字学習と高校教員による習熟度別入試対策授業を実施しました。今年度までの中高一貫漢字学習の成果と課題を踏まえ、次年度は使用テキストに付属する小冊子も活用して漢字学習に取り組みます。(島)

【理科部会】生徒の習熟度に応じて、基本の充実から応用的な問題まで段階的に学習できるようにしています。また、「百人浜に学ぶ」では地域の自然環境に興味を持ち、科学的な思考ができるような体験的な学習活動も行っています。(大竹)

【数学部会】本年度から中学3年生を対象とした高校教員による授業を週2時間実施しました。また、中学3年間のまとめ学習を中学校2名、高校3名の5名体制で実施しました。重点的に基礎固めを行うコース、発展問題の演習を行うコースに分かれ、TTによるきめ細やかな指導を行いました。(前川)

【社会科・地歴公民科部会】今年度も3回のコンクールを実施して、学習意欲の向上に取り組みました。また、環境学習「百人浜に学ぶ」を通して、えりも町の今後の緑化事業や環境保全について考えるなど、地域に根ざした学習を行いました。(伊藤麻)

【保健体育部会】中学1年生から高校3年生まで体力テストを実施しました。その結果を分析し、全国平均から劣っている項目について、各学年において授業内で体力向上に取り組みました。(田畑)

【英語部会】中高合同英検のほか、昨年度に引き続き高校教員が週2時間、中学3年生の英語の授業に入りティームティーチングを行いました。今後も英語力の向上のため、きめ細やかな指導ができるよう中高で連携していきたいと考えております。(芳賀)

乗り入れ授業 活発に

現在、国語・数学・英語・社会など、多くの教科で、高校の教員が中学校に赴く乗り入れ授業を実践しています。乗り入れ授業をすることによって様々な効果が期待できます。中学生は、えりも高校に親近感を持てるようになり、進学する不安を取り除くことができます。中高の垣根を取り払い、高校へ入学できることは、中高一貫教育の強みでもあります。

さらに、部活動でも中高合同で練習をするなど、中高一貫教育はより活況を呈しています。来年度も、一層連携を深めた授業を展開していきたいと考えています。

難関 漢検・英検2級合格者増

今年度も漢検と英検において2級合格者が出ました。英検2級合格者に中学生が1名。さらに超難関の漢検準1級にも中学生の合格者が出ました。漢検も英検も2級からは難関と言えるでしょう。大人でもなかなか合格できないのが実情の中、すばらしい快挙です。

特に英検は、2級となると大学入試センター試験と同等のレベルとされ、合格することは、相当の実力があることの証明になります。

なお、漢検・英検の他に、数検も実施しています。来年度も数多くの中学生・高校生のチャレンジを期待しています。

中学生に訊く～中高一貫教育について

連携入試が無事終わり、えりも中学校の25名の生徒がえりも高校に進学することになりました。えりも中学校の生徒が、中高一貫教育の前半3年間で何を学んだのか、生徒の声をまとめてみました。

◎職業別ガイダンスについて

- ・ただ子どもが好きだけではなれず、苦手なことにも積極的に挑戦しなければいけないと感じました。(保育士)
- ・専門的な知識の他にも、コミュニケーション力が必要だとわかりました。(歯科衛生士)
- ・自衛官になるための過程やコースを学び、大きなやりがいと責任があると感じました。(自衛官)
- ・介助の体験をさせてもらい、相手の目を見て話すことの大切さがわかりました。(社会福祉)

◎中学生面談について

- ・一番大切なことは事前準備だと感じました。
- ・質疑応答のときは面接官の顔を見て言葉遣いに気をつけなければならないことを学びました。
- ・緊張感から自分が思っていることをしっかり

りと伝えることができず、改めて伝えることの難しさを感じました。

- ・気になっていた高校卒業後の進路についてのアドバイスをいただいて、良い経験になった。

◎進路講話について

- ・卒業してからのことや将来の夢に向けて、試験や今できることなどをしっかり考えている先輩方が本当に素晴らしいと思いました。
- ・自分の進路を決定しなければいけない時期がそれほど先ではなく、もうすぐ目の前にあると感じました。

<担当より>

進路講話や中学生面談を通して生徒たちが将来について真剣に考えるととても貴重な機会だと感じました。4月から新しい環境の中でスタートする卒業生には、様々な経験を通してより一層成長していくことを期待しています。

(文責 三谷 翔太)